

# コンサルタントの現場から

第65回

(株)ジェムコ日本経営 高橋 功吉

「コンサルタントの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

## 残念ながら…が事業を潰す

今回のこのタイトルは、筆者が経営を実践で学んだ師匠といえる経営者が日頃から言われていた言葉である。今回は、この内容について述べることにする。

### 残念ながら…の背景には

どの企業でも、社内外を問わず、経営数値をはじめとした報告や発表する際に、「残念ながら、計画未達に終わりました」「残念ながら、事故を発生させてしまいました」というように、「残念ながら」という言葉が枕詞のように

きなかつたというような意味合いが、そこにはある。

### 自責と思っていない?

すなわち、残念ながらという背景には、この結果を招いたのは、100%自責ではないという感覚があるのではないかとこのことを。

もし、計画が未達だった時に、100%自責と思っているのであれば、「残念ながら、計画未達に終わりました」という言い方にはならず、「計画が達成できず、誠に申し訳ございませんでした」という言葉になるはずだからだ。

もちろん、計画が達成できなかった要因として、外部環境等の変化によることは多い。

しかし、これは言い訳以外の何物でもない。環境は常に変化するのであり、これを踏まえた対応をするのが経営者である。真の経営者であれば、「残念ながら、市況の悪化により、商品が売れず、多大の在庫を抱え、資金が回らなくなり倒産しまし

た」というような事態になる前に、逸早く変化に対応した商品戦略や販売戦略を打ち出すと共に、資金を守るために在庫の圧縮やコスト削減策等を打ち出すはずだからだ。

### 真の経営者は「残念ながら」とは言わない

すなわち、真の経営者はどんな変化があろうと、計画未達の責任は、経営責任者にあると思われており、間違っても、「残念ながら…」という他責と感じさせる表現を使うことはないということだ。

このことは、各組織を預かる責任者にも言えることだ。部門としての報告の中で、「残念ながら…」ではなく、「何とかし

ら…」を枕詞につけて報告する責任者は、真に自責と思っていない可能性が高い。すなわち、皆がいつも「残念ながら…」と言っている企業は、皆が自責と認めて死に取組んでいないと共に、変化に対応できない組織になっているということだ。「残念ながら…」が事業を潰すというのには、こういう意味なのだ。

### 「何とかも」に変える

ところで、大切なことは、この「残念ながら…」という言葉は、「何とかしても…」という言葉に変わる。この言葉を使う企業が、日頃から「残念ながら未達になりそうです」ではなく、「何とかし

ても達成します」というように、「何とかでも」という言葉が常に出るようになることだ。何としても計画を達成するのだというような気持ちを持っていくか否かで、達成可否が決まる部分は大きい。

そういう意味では社内では、「残念ながら…」という言葉を使うことは禁止してはどうだろうか。「何とか」という言葉を使ってくれと言いつけるだけで、他責にして、未達でも仕方がないという風土は変わってくる。

たかが、枕詞的に使われる一つの言葉だが、この言葉を使う企業と使わない企業の差はものすごく大きいということだ。

<執筆者プロフィール>

**高橋 功吉**  
(たかはし こうきち)

(株)ジェムコ日本経営  
常務理事 グローバル事業担当



大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経BP)他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMC(国際公認経営コンサルティング協会)認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

**VTT Nippon**

**7月29日 バンコクオフィスで 移転価格と関税評価などの勉強会**

バンコク・東京・大阪を中心にASEAN全域で管理業務全般にわたるアドバイザリー業務・サポートを行うVTT Nipponが7月29日、「移転価格

と関税評価/税関コンプライアンス/タイ税制の最近の動向をテーマとする勉強会をバンコク都シロム通りの同社会議室開催する。

パナマ文書などの影

響もあり、各国税務署や税関などに対するコンプライアンスが益々面倒になってきています。TPP時代を控え、非加盟国タイですらOECDのアクションプランBEP(S)税源浸食と利益移転等を無視できない情勢になっている。今回は、その中心をなす移転価格など

日時	2016年7月29日(金) 15:00~ 受付開始 15:30~17:30 勉強会 17:30~ 懇親会(日本食レストラン「美里」にて) *希望者のみ
会場	VTT Nippon シロム事務所 会議室 942/43 Ground Floor, Charn Issara Tower, Rama 4 Road, Suriyawongse, Bangrak, Bangkok 10500
テーマ/講師	1) 移転価格と関税評価: VTT Nipponパートナー 千田昌明 2) 税関コンプライアンス: VTT Nipponパートナー Tanva Mahitivanichcha 3) タイ税制の最近の動向: VTT Nippon 税務顧問 Rattanavadee Anusornvongchai
定員	8名
参加費	勉強会:無料 / 懇親会(希望者のみ) 食事代:1,000バーツ *勉強会のみ参加も可能。
言語	日本語 / 英語(日本語通訳付)

タイでの工場建設・増築

お任せください!

タイでの工場建築・増築・設備に経験豊富な日本人が全力でサポート!

提案力かつローコストが強み! 工場内設備・電気設備も一括対応

設計・施工・メンテナンスも一貫して自社社員でフォロー!

お問合せはこちら Tel: 081-991-5078 (杉浦)  
E-mail: sugiura.tcc@tcctecnica.co.th

TCC TECNICA CO.,LTD.  
(本社パトナーニ・支拠点シーラチャ 日本人社員6名)  
122 Moo.20 T.Klongnueng, A.Klongluang,Pathumthani 12120

www.tcctecnica.co.th



人と環境創造

空気と水の

SANKEN-EMC Company Limited

ITF Tower 140/66, 28Floor Silom Road, Suriyawong Bangrak, Bangkok 10500  
TEL : 0 2615 6100 FAX : 0 2615 6128-30  
E-mail: info@sanken-emc.co.th

www.sanken-emc.co.th

